

報道関係者各位

2021年9月9日  
No.1

## インドネシア共和国において産業用需要家向け屋根置き太陽光発電 (第三者所有モデル) 事業を開始しました

株式会社新日本コンサルタント（富山市奥田新町、市森友明社長）は、この度、グループの発電事業会社であるニックスニューエネルギー株式会社（以下、NNE）を通じ、アラムポート株式会社（東京都千代田区、以下、アラムポート社）と共同でシンガポールに合弁会社「ALAM NIX RENEWABLES PTE LTD」（以下、ANR）を設立し、インドネシア共和国における産業用需要家向け屋根置き太陽光発電（第三者所有モデル）事業に参加しました。アラムポート社はインドネシアにおける再生可能エネルギーの事業化・推進に注力し、コンサル・アドバイザリー事業、及び事業開発・投資事業の2つの軸からビジネスを展開しており、今回の両社提携を通じて、インドネシアにおいて屋根置き太陽光事業への投資・事業開発を加速化するだけでなく、より多くの再生可能エネルギーの事業化を目指していきます。

### ■インドネシアの太陽光発電市場、屋根置き太陽光発電事業（第三者所有モデル）について

インドネシアは、赤道直下で太陽光エネルギーの潜在発電量が多く、政府は関連規定を整備し太陽光発電を推進していますが、実際に活用されているのはまだごく一部に過ぎない現状です。大型地上置き発電設備等を含めた太陽光発電の全体容量実績 153.4MW のうち、屋根置き型太陽光発電は、2018年時点の 350 件程度から 20年には 4,000 件程度まで導入事例が増えているものの、一般家庭の住宅、政府機関、国営企業を含む企業や工場などを含めても、既設の発電容量は、いまだに 31MW 相当に留まっています。

また当地では国営電力会社に売電する通常の太陽光 IPP 事業は、長引く新型コロナウイルスにより、入札・売電手続きが遅延しており、また製造業等が自社で自家消費用に設置する太陽光発電設備についても、初期費用負担により、導入が進んでいません。屋根置き太陽光発電事業（第三者所有モデル）は、各企業が初期投資を負担せずに、クリーンな再生可能エネルギーに転換しながら、消費する電気代も削減できることから、新たな電力供給方法として、市場も年々拡大しており、政府は 2025 年までに発電容量目標を 3.6GW としています。

### ■本件、インドネシア屋根置き太陽光発電（第三者所有モデル）事業 について

弊社は、アラムポートが既に自然電力株式会社（福岡県福岡市）と共同で、インドネシアにおける屋根置き太陽光発電事業をインドネシア法人「PT Alam Energy Indonesia」（以下、AEI）を通じて展開している同事業に、今回設立した ANR にアラムポートが保有する既存出資持ち分を移管することで同事業に参画します。今後は、弊社グループの国内外の再生可能エネルギー事業実績、インドネシアエンジニアリング現地法人の機能を活用した技術的知見、北陸地域を中心とした製造業との経済ネットワークとアラムポートが有するインドネシアにおける機動力、実行力とを連携させ、インドネシアにおける屋根置き太陽光事業の投資、事業開発を加速化していきます。

現時点で、現地運営に向けAEIとインドネシア企業の ATW グループと合弁で設立した特別目的会社「PT ATW Alam Hijau」を通じて、合計約 10MW の屋根置き太陽光発電所導入に関する契約を複数の顧客と締結しており、2021年9月にはインドネシア上場企業である製薬工場向けの第1号案件 1.7MW が完工予定となっております。今後、数年間で 50MW 相当を初期の目標として、事業を展開していきます。

### 【第1号案件：製薬工場向け太陽光発電（1.7MW）施工中】



報道関係者各位

2021年9月9日  
No2

## インドネシア共和国において産業用需要家向け屋根置き太陽光発電 (第三者所有モデル)事業を開始しました

### ■NIX グループの再生可能エネルギーへの取り組み

NIX グループが取り組むエネルギーマネジメント事業の発電事業のうち、本件は、海外太陽光発電事業、並びにIPP 事業モデル以外の第三者所有モデルとしての初めての案件となります。

1. 【太陽光発電】 NIX 八尾ソーラーパワー (1,260kW) : 平成 26 年 10 月 運転開始
2. 【小水力発電】 平沢川小水力発電所 (198kW) : 平成 27 年 5 月 運転開始
3. 【小水力発電】 庄川水系湯谷川小水力発電所 (804kW) : 平成 31 年 1 月 運転開始
4. 【小水力発電】 金沢ゆわく小水力発電所 (160kW) : 建設中
5. 【水力発電】 インドネシア トンガル水力発電所 (6,200kW) : 建設中
6. 【水力発電】 インドネシア ケタウン水力発電所 (13,000kW) : 開発中
7. 【太陽光発電】 インドネシア 屋根置き太陽光発電事業 (本件) : 第 1 号案件建設中 (合計約 10MW 契約済)

### ■ALAM NIX RENEWABLES PTE LTD の概要 (シンガポール合弁会社)

正式名称	ALAM NIX RENEWABLES PTE LTD
設立日	2021年8月7日
住所	160 Robinson Road, #14-04 Singapore Business Federation Centre, Singapore 068914
当初出資金	USD 100,000 ※年内 USD 4,000,000 増資予定
取締役	市森友明 (当社 代表取締役) 芳尾航 (当社 取締役) 小谷文人 (アラムポート社 代表取締役) 西森聡一郎 (アラムポート社 取締役)

### 【アラムポート株式会社について】

2015年3月設立。アラムポートは、インドネシアを中心に東南アジアにおいて現地ニーズに寄り添った再生可能エネルギー事業推進のため、事業開発・投資、コンサル・アドバイザー事業を行っている。太陽光、水力、バイオマス等、現地資源に合わせた幅広い自然エネルギー発電事業に携わっている。

- ・本社：東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 6 階 GOODOFFICE 有楽町
- ・代表取締役：小谷文人
- ・WEB サイト：<https://alamport.net/>

報道関係者各位

2021年9月9日  
No2

インドネシア共和国において産業用需要家向け屋根置き太陽光発電  
(第三者所有モデル)事業を開始しました

NiXグループでは、2020.7～2023.6の3か年を対象とした中期経営計画「Growths 2nd Produce 50」において、地域社会インフラの強化やインフラ技術者の雇用維持・技術伝承、国内外での再生可能エネルギー事業を通じた脱炭素化への貢献・新興国の電力不足解消等の社会的課題を解決することで、経済的価値を同時に増大する「CSV経営」をグループ経営方針に掲げています。今後もインフラコンサルティング事業や国内外での再生可能エネルギーの電源開発を通じ、【サステナブルな社会に必要なレジリエントな企業】を目指し、より一層地域に不可欠な企業となるよう努力いたします。

